



田端中だより

令和8年10月5日第6号
北区立田端中学校
校長 関野 純一

＜教育目標＞

人権尊重の精神を培い、
国際社会と地域社会に活躍する生徒を育てる

＜目指す生徒像＞

自他を愛しむ生徒
生命を尊ぶ健やかな生徒
自ら学び、自己実現を目指す生徒

～ 3 大行事の一つ ～ 校長 関野 純一

先日のシルバーウィーク中、今年3度目の集中豪雨がまた千葉県を襲い河川の氾濫による浸水が起きました。今回は神奈川県でも古都鎌倉の浸水や、三浦市などのがけ崩れなど多くの方が被害にあわれていました。謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、本校3大行事の一つである『合唱コンクール』が3週間後に行われます。夏休み前に各学級「自由曲」「指揮者」「伴奏者」を決定し、音楽の授業で合唱練習をスタートしました。9月に入り 第1、2回実行委員会を開催し、委員長や今後のスケジュール、2学期に入り始まる練習期間に向けた計画を立ててくれています。「スローガン」については、先週発行の「実行委員だより」で発表されていますので、そちらをご覧ください。

今年はインフルエンザ等の感染症の流行時期が例年よりも一月ほど早いようです。原因については様々なことが伝えられていますがはっきりしないのが現状のようです。ワクチンを打って予防など言われていますが、例えば、電車の中など不特定多数の人が集まる場所では「マスクをして予防する」こと。また、学校では「手洗いうがいの徹底」「休み時間を利用した空気の入替え」などおこなうなど感染症対策を呼びかけていきますが、ご家庭でも対策をしていただけると幸いです。

これから集中的に本番に向けた練習が始まっていきますが、9月中旬に6階にあるピアノを使って昼休みに仲間内で練習している生徒もいました。合唱コンにける意気込みを感じた瞬間でした。練習は放課後の25分間という短い時間となりますが、「集中してできる」「喉を傷めるリスクが低い」という利点があると思います。各学級で工夫を凝らした練習が実施されていくと思います。保護者の皆様が中学生の頃は朝練習などもあったと思いますが、現在は教職員の勤務時間外での生徒の活動を無くしていく方向となっていることから朝練習を実施しなくなっていることをご理解いただければと思います。

長く教員生活を送っていますが、実は全学級の合唱を聴いたことが今まで無いのです。ほとんどが自分の学年のみ。副校長時代は受付にて体育館や、ホールから聴こえてくる音を聴くだけでした。今年は審査員という大役を務めなくてはならないプレッシャーもありますが、全学級がどれだけ大きな『わ』を作ってくれるかが今から楽しみです。1年生から2年生、そして3年生へと学年ごとの成長を感じながらじっくり聴かせていただきたいと思います。

保護者の皆様もお忙しいとは思いますが、お子様の成長を感じることができる機会だと思います。ぜひ、10月24日（土）本校の体育館にお越しいただき、実行委員を中心に作り上げた最高の合唱を聴いていただければと思います。各担任の色が至る所に出ると思います。

10月の主な行事予定

1日(木) 都民の日	16日(金) 第2回進路説明会	26日(月) 振替休業
2日(金) 連合体育大会	21日(水) 合唱コンクール予行	27日(火) 連合音楽会
9日(金) 1学期終業式	23日(金) 漢字検定	30日(金) 連合学芸会
10日(土) ~ 12日(月) 秋季休業	24日(土) 合唱コンクール	

3学年修学旅行

6月30日から7月2日までの3日間に京都・奈良へ修学旅行に行きました。これまでの学校生活で学んだこと、身に付けたことを存分に発揮し、「困ったら相談する」1年生の校外学習から、「トラブルが発生しても、自分たちで考えて行動する」ができる3年生の修学旅行になりました。予定と時間がずれてしまったら、見学予定地が休館していたらなど、些細なトラブルは自分たちで解決し、次の行動を自分たちで決め、3年間の成長が感じられる修学旅行でした。

1・2年生の校外学習では班ごとにテーマを決め、企業訪問をはじめとして各テーマに合うよう学びを深めてきました。修学旅行のテーマは「自分が学んだこと」です。修学旅行前から、自分で学ぶテーマを決め、修学旅行での3日間を使って、「京都・奈良」を調べつくしました。東京にはない京都・奈良の魅力を調べた人、現地の観光客にインタビューした人、自身が体験したことをまとめた人など、テーマは様々です。京都・奈良の伝統や歴史を学ぶだけでなく、企業訪問も行いました。AIなどの科学技術が急速に発展を続ける中で「なぜ企業として長い歴史を残せるのか」「歴史のある企業として今できることは何か」を学びました。



薬物乱用防止教室

夏休み明けの登校日でもあった9月1日(火)、日本大学薬学部より、講師として安部恵先生をお招きし、体育館にて「薬物乱用防止教室」を開催しました。薬局など、生徒の身の回りで手に入る薬物や清涼飲料でも、乱用によって身体や精神に危険をもたらするという現代日本の状況について、講演を通じて学ぶことが目的です。生徒に向けて7月に実施した事前アンケートによると、本校生徒には「市販されている薬物は安全である」という誤解があること、そして「困っている友人を助きたい」気持ちは強いが、「困っていることを周囲に相談できる」という気持ちは弱いことが分かっていました。

孤独感や焦燥感など、思春期特有の悩みが薬物乱用の引き金になりやすいという説明を、生徒は聞きながら聞いてくれました。また、講演中には教員をはじめ大人も悩むことがあるという告白もあり、それを防ぐためには友人や周囲の大人に弱音を吐ける関係が重要であることを、体験的に学びました。当日講演会後に開催した、保護者や学校評議員との座談会では、たくさんの質問や意見が出され、「生徒の安全」を中心として、学校と地域による有意義な議論の場となりました。

田端中ハローワーク

9月19日(土)、第1・2学年を対象に「田端中ハローワーク」を行いました。今回は、建設業、製造業、物流・運輸業、放送業、教育業、ホテル・外食産業、販売業、娯楽業など、さまざまな分野で活躍されている15企業の講師の方をお招きしました。それぞれの仕事の内容や働くことの意義、仕事をする上で大切なことなどについて、貴重なお話を伺いました。

生徒たちは、社会人の方から直接お話を伺うことに新鮮さを感じながらも、真剣な表情で参加しました。姿勢よく前を向き、メモを取ったり、事前に話し合っていたことや、講話を聞いて考えたことを積極的に質問し、意欲的に学ぶことができました。

さらに、2年生のリーダーは、講師の方の誘導や会場での活動を担当しました。一人一人が責任をもって役割を果たし、活動を支えることができました。

今回の講話は、働くことについて考えるとともに、自分の将来に目を向ける貴重な機会となりました。この学びをこれからの学校生活や進路選択につなげ、自分の「将来やりたいこと」「頑張りたいこと」を少しずつ見つけていってほしいと思います。

